

三條北ロータリークラブ週報

No. 11



フランチェスコ・アレツォ RI 会長

第 2560 地区：室賀信宏ガバナー

三條北 RC：羽賀一真会長

「よいことのために手を取りあおう」

～UNITE FOR GOOD～

「ロータリーで善の循環を」

「初心にかえって新しいことへの挑戦」



会長：羽賀一真 幹事：森 宏 S A A：齋藤孝之輔

●例会日：火曜日 12:30～13:30 ●例会場：三條ロイヤルホテル Tel 0256-34-8111

◆本日の行事：「IM報告会」

◆本日の出席：47名中27名

◆先々回の出席率：47名中35名 80.85%
(前年同期 76.09%)

◆本日のオブザーバー：

ティスコム(株) 代表取締役 江田 健一 様
 (有)泉田機工 代表取締役 泉田 哲也 様
 (株)アイプリント 常務取締役 鈴木 宏彰 様
 米山記念奨学生 ペレス エレラ、アンドレアさん

* 本日の配布書類等

- ・ロータリーの友 10月号
- ・月信 10月号(閲覧) ・週報 No.1810.11(HP)

◆先週のメイクアップ(敬称略)：

9/16クラブ奉仕A委員会 米山忠俊、武田恒夫
 羽賀一真、森 宏、松山浩仁
 大橋桂子、長谷川千佳

9/17 三 条 RC 樋口 勤

9/18 加 茂 RC 樋口 勤

9/18 第4回ゴルフ大会 佐藤義英、淵岡 茂
 岡田大介、石川一昭、松山浩仁、森 宏
 花井知之、大橋桂子、長谷川千佳

9/20 米山カウンセラー研修 大橋桂子

9/25 加 茂 RC 齋藤良行

9/25 三條東 RC 石川勝行、石川友意、外山裕一
 石黒隆夫、吉川将人

10/4 米山委員長セミナー 羽賀一真、大橋桂子

10/4 赤い羽根共同募金 街頭募金 石黒隆夫

会長挨拶：羽賀一真 会長



みなさん、こんにちは。

さて、今は何といてもこの時事ネタです。高市早苗氏が、自民党総裁に選ばれましたね。

今の自民党は少数与党なので、まだ確定ではないのですが、このままいけば、10/15(水)の臨時国会で、いよいよ日本の憲政史上初の女性の総理大臣が誕生する公算が大きいですね。

ところで、ロータリーでは政治ネタが全面的にタブーというわけではなく、ロータリーでは政治的中立を保ち、特定の政治家、政治団体、政治思想を偏って支持批判してはならない、とされているということを再認識してください。なので、男である僕もシンプルに「日本初の女性首相の誕生」という、いわば歴史的瞬間に立ち会えることを素直に喜んでいます。

たまた、リーダーが女性さえであれば誰でもいいわけでないですね。どこかの女性市長のように、学歴を

詐称したり、男性職員と公用車でホテルに10回以上も通うようでは、いけません。

日本は今、物価高対策も喫緊の課題、外交や防衛の問題も山積し、新潟では拉致問題が最優先課題ではありますが、それと同じくらい、先進国が一度はたどる試練である「少子化」に苦しんでいます。少子化は、人口減少、労働力不足、国力衰退につながってしまいます。

ちなみにうちの家庭ですが、僕は専業主婦を妻に欲しかったし、妻は専業主婦願望があったので、需要と供給が一致して結婚し、子どもも3人いるので、日本の人口増加の役には立っています。なので、もう少し正確に言うと、「女性は社会進出しなければならない」という強制もおかしな話であり、「社会進出したい女性も、家庭に入りたい女性も、ともにその多様性を尊重し、それらを全面的にサポートする社会を目指すべき」ということです。



しかし、出産は女性にしかできませんし、育児も授乳ということについては女性にしかできません。よって、女性の社会進出が、まず一旦は少子化につながるというジレンマは、先進国であれば必ず通る道であり、これを克服していかなければなりません。フランスや北欧諸国では、女性の社会進出と出生率の向上という非常に難しい両立に成功したそうです。そのような成功例を参考にして、日本の新しい女性リーダーに期待したいと思います。

このニュースは、先日 10/4(土)に、米山奨学セミナーに、大橋桂子委員長と一緒に参加してきた際、アンドレアさんが立派にスピーチしたあとの休憩時間に、自民党総裁選挙の結果が気になっていたの、スマホで見て、隣に座っていた大橋桂子委員長にもスマホを見せたら、女性の社会進出に大橋委員長も大喜びでした。そうです、みなさん、女性の社会進出に向けて、我がクラブでも初の女性会長を誕生させようではありませんか！

幹事報告：森 宏 幹事



- ・室賀ガバナーより、「地区大会記念ゴルフ大会の御礼」
- ・富山ガバナーエレクトより、「富山年度クラブ会長幹事ラーニングのご案内」
日時：11月1日(土)13:00～18:30 会場：あてま高原リゾート ベルナティオ
- ・地区ロータリー財団委員長より、「補助金管理セミナー開催のご案内」
日時：11月29日(土)12:30～16:00 会場：ホテルイタリア軒
- ・米山学友会会長より、「第2560地区米山記念奨学生学友会総会開催のご案内」
日時：11月8日(土)15:30～18:30 会場：ホテルオークラ新潟
- ・佐渡南RCより、「創立50周年記念誌送付のご案内」

第4回 理事会議事録

開催日時	令和7年10月7日(火) 11:30～12:30		
開催場所	三条ロイヤルホテル		
出席者	出席数 15名(委任状 4名)/15名		
	羽賀一真、齋藤孝之輔、外山裕一、森 宏、石川一昭、武田恒夫、米山忠俊、渋谷義徳、長谷川千佳、松山浩仁、田口実仁佳、佐藤義英、花井知之、石黒隆夫、野崎喜嗣		
協議事項		協議結果	
1. 新会員候補の件	2名		承認
2. 退会会員 年会費の件			承認
3. 40周年記念事業についての経過報告			報告
4. 燕三条駅の老朽化したモニュメントの件			継続
5. その他			報告
・(書面)理事会 承認報告 ・指名委員会 現状報告 ・米山奨学生に関する報告			



米山奨学生奨学金授与



- 奨学生 ペレス エレラ、アンドレアさん
(メキシコ / 長岡技術科学大学)

皆さんこんにちは。先週の土曜日、米山記念奨学生のセミナーに参加しました。奨学生として何をやっているかを発表しました。先週は内定式もありとても楽しかったです。今月も奨学金ありがとうございました。

武田恒夫 副SAA

齋藤孝之輔 SAA の欠席のため代行。





注目して読んでいただきたいところは

1. 横書き P.3

フランチェスコ・アレツォ RI 会長
メッセージ

① 10 月はロータリーの「地域社会の
経済発展月間」

- ② ロータリーの中核的価値観の一つでもある
「リーダーシップ」とも完全に一致。
人々に経済発展の力を与えること。まさに、ロ
ータリーの経済発展プロジェクトの目標です。
2. P. 10 ロータリアン酒蔵の紹介
長岡「お福正宗」・長岡「久保田」・村上「張鶴」
3. P. 15 よねやまだより、ロータリー米山記念奨学
会資料
4. P. 22 台北 2026 年大会に行くべき理由を徹底
解説。
ついに、あなたが参加する 때가 来 ました。

5. P. 41 エバンストン便り「国際大会予定」
2026 年 6 月 13 日～17 日 台北
2027 年 5 月 22 日～26 日 ドバイ
2028 年 5 月 27 日～31 日 ミネアポリス
2029 年 (未定)
2030 年 5 月 25 日～29 日 シカゴ

全世界ロータリアン数：11,560,586 人
クラブ数：36,464 クラブ

6. P. 45 地区別クラブ数・会員数一覧表

7. その他

- ①P. 49 声「7 月号の感想」
②P. 51 卓話の泉「鳥が鳥であるために」
「千玄室：一怨(ワン)をどうぞ」
③P. 31 俳壇 新潟吉田 RC 佐藤良一会員
④P. 62 タクシー会社の名社長は甲子園の名
解説者。
⑤P. 67 シウマイの街、崎陽軒の発展。

ロータリー財団 BOX

10 月 7 日現在累計 140,000 円

- 外山 晴一 君 外山産業(株)の駐車場に核シェルターを展示しました。
是非、ご見学においで下さい。
- 羽賀 一真 君 泉田哲也様、鈴木宏彰様、江田健一様、ぜひご入会のほど、
前向きにご検討ください。
- 森 宏 君 本日オブザーバー3 名の方を歓迎して。
- 金子太一郎 君 本日、羽賀会長その他 3 名の方、IM 報告をお願いします。
- 石黒 隆夫 君 本日はオブザーバーの皆様、ようこそ三条北ロータリークラブへ、入会お待ちしております。
- 長谷川千佳 君 福岡さんに協力します。
- 福岡 信行 君 本日も協力ありがとうございました。



米山奨学 BOX

10 月 7 日現在累計 122,000 円

- 外山 晴一 君 協力します。
- 長谷川千佳 君 桂子さん、いつも有り難うございます。アンドレアちゃん楽しんで。
- 羽賀 一真 君 10/4(土)の米山奨学セミナーでのアンドレアさんのスピーチ、素晴らしかったです！
- 森 宏 君 アンドレアさんを歓迎して。
- 米山 忠俊 君 素晴らしい IM でした。燕 RC の皆さん有難うございました。
- 石川 勝行 君 米山奨学に協力させていただきます。以上。
- 湊岡 茂 君 大橋委員長に協力。
- 吉川 将人 君 年末に向けて寄付額を増やせるように日々努力いたします。
- 野崎 喜嗣 君 アンドレアさん、本日もよろしくお願いします。
- 星野 義男 君 大橋桂子さんに協力します。
- 大橋 桂子 君 先週土曜日米山委員長セミナーに行っていました。セミナーでは奨学生 2 名の体験
発表がありそのうち 1 名がアンドレアさんでした。とても立派な体験発表でした。



スマイル BOX

10 月 7 日現在累計 326,000 円

- 長谷川千佳 君 泉田さん、鈴木さん、江田さん、本日は北ロータリーへようこそお越
し下さいました。不在で申し訳ありませんが、楽しんでいて下さい。
理事会欠席申し訳ありません。皆さま宜しく願い致します。
- 外山 晴一 君 協力します。
- 石川 一昭 君 本日のオブザーバー江田様、泉田様、鈴木様、ようこそ北ロータリーへ。
ごゆっくり雰囲気を楽しんで下さい!! 入会お待ちしております。
- 羽賀 一真 君 今年も日本人のノーベル生理学 医学賞の受賞決定、おめでとうございます！



森 宏 君 DeNA ベイスターズのCS 突破を祈り。
 武田 恒夫 君 先日の工場の祭典に当社が初参加しました。来訪された方々もたくさんありました。ありがとうございました。社員にとっても最高の思い出になりました。

石川 友意 君 BOXに協力!!
 花井 知之 君 田崎委員長に協力します。IM報告会の皆様、ご苦労様です。
 落合 益夫 君 BOXに協力。
 佐藤 義英 君 IM参加の皆様、御苦労様でした。BOXに協力!!
 外山 裕一 君 BOXに協力。
 田崎 尚志 君 本日もご協力ありがとうございます。

本日の行事：「IM報告会」



羽賀一真 会長

9/27(土)に、第4分区IMが燕三条ワシントンホテルにて開催されました。当クラブからは22名の参加でした。

第4分区の青柳修次ガバナー補佐を始め、樋口徹会長、本間尚貴IM実行委員長など、燕RCの皆さんが準備に奔走されていたのを、我々も第4分区の会長幹事会でも見てきました。樋口会長も本間IM実行委員長も、「IMってなに？」から始まったそうで大変なご苦労があったということです。

IMに参加されていない若手会員もいると思うので、改めてIMを簡単に説明します。

IMとは Intercity Meeting の頭文字で、近隣都市の複数のクラブで実施する都市連合会のことです。分区単位でのクラブや、大都市の場合、その都市内の数クラブの会員が集まり、合同で行う自由討論会です。ガバナー補佐が主催して開かれることが多いようです。決議や決定はなくIMへの出席はメイクアップとなります。その目的は第一に会員相互の親睦と面識を広め、会員にロータリー情報を伝えると共に、立派なロータリアンの養成にあります。そのため、経験豊かなリーダーの下で、ロータリーの奉仕の理想を勉強する会合です。討論の主な内容は、5大奉仕部門をカバーしつつ、ロータリーの特徴やプログラムなどを検討します。クラブ会員、全員参加です。この会合の大切な目的は、会員増後の親睦と知識を広めることであって、さらに会員にロータリー情報を伝え、奉仕の理想を勉強するために開催されます。テーマはロータリーのこと、そして一般社会のことで、そのときに話題になっていること、考えなければならぬ問題点など、多岐にわたります。形式も講演、フォーラムなどいろいろあります。この会合では、

知識を広め深めるとともに、グループ、分区内の会員の親睦も重要な目的ですから、懇親会も併せて開催されます。

14:00の開会前から、飛燕太鼓によるウェルカム演奏で元気づけられました。

参加者は全部で160名ほどだったと思います。

第2560地区ガバナー白根RC室賀信宏様もご出席でした。

開会セレモニーが行なわれ、青柳修次ガバナー補佐から今回のIMのテーマ「楽しいロータリー」が伝えられました。

講演会の講師は、ロータリーの友編集長の野崎恭子様からでした。講師の野崎様は、室賀ガバナーが若い頃まだ白根RCに入会されたばかりの頃からよくご存知とのことで、ガバナーにまでなれたことを大変驚いて喜んでいらっしゃいました。

ロータリーの友へは、ぜひ皆さんから投稿してほしいとのことです。特に印象に残ったことは、「ロータリーの友にも失敗談を寄せてほしい」とのことでした。成功体験よりも失敗から学ぶことのほうが多いということですが、なかなかみんな、失敗というものは自分からは投稿してくれないわけですね。

IMのテーブルの席割りですが、通常は同じクラブ同士で同じテーブルにしてほしい、とみんな言うとのことです。あえて今回のIMは、クラブが



バラバラの席にしてほしいというのが講師の野崎様からのご提案だったそうです。参加者は 160 名ほどを 1 テーブル 6~7 名ずつ 22 テーブルに分けて座りました。

何と言っても、今のロータリーは会員減少に悩まされている。どうやったら会員が増強できるか、そのためには楽しいロータリーでなければならない、というテーマです。いつもの同じクラブの会員同士が同じテーブルになってもいつもと同じ意見しか交換刺されないだろうから、あえて別々のクラブが相席する方法にしたとのこと。このご提案には確かに得られるものが多かったです。

IM の開催の前には、ロータリーを楽しくして、どうやって会員増強をしていくかについての事前アンケートが行なわれました。講演会の後には、各テーブルで自己紹介と、事前アンケートに基づいたテーブルディスカッションが行なわれました。事前アンケートの内容も非常に濃いものでした。アンケートは 4 問です。

私羽賀が回答した内容は以下の通りです。

①なぜ、あなたはロータリアンですか

僕の父が以前、当クラブのロータリアンであり、その頃、僕は学生でしたが、短期交換学生やライラ、ロータリーの家族交流旅行などに参加してもらい、当時からロータリーには親しみがありました。父との入れ替わりで、当クラブ初の親子 2 代目会員として入会させてもらい、当クラブ初の親子 2 代目会長職を仰せつかっております。

②ロータリーで好きな活動は何ですか

ロータリーでなければ見学できないような場所に行けるところです。

例えば、社会奉仕活動の一環として、病院へ車椅子の寄付をしたり、市立大学へモニターの寄付をしたり、その時に普段は入れないようなところを見学できることが楽しみです。

③ロータリーに入って良かったと思う経験は何ですか

ロータリーに入っていなければ、これほど多くの人との人脈はできなかったと思います。入って良かったです。

第 4 分区ガバナー補佐青柳ガバナー補佐より

④その他、ご意見ご要望をお聞かせください

今よりもさらに広報活動を行なっていければと思います。青柳ガバナー補佐のインスタグラム、フェイスブックを使っの広報活動も賛同いたします。しかし僕が時代に乗り遅れて SNS の使い方がわからないので、僕も時代のものを勉強しなければというきっかけを作っていたきました。



第 4 分区ガバナー補佐
青柳修次 様

アンケートまとめ多かった内容

①なぜ、あなたはロータリアンですか？

- ・先輩、知人、友人、取引先に誘われた
- ・父がロータリアンであった
- ・地域、異業種、社会貢献、奉仕につながる、
- ・社会とのつながり
- ・異業種交流、知り合い、知見を増やす、つながりをふやす

②ロータリーで好きな活動は何ですか？

- ・たのしいから
- ・会員同士の親睦懇親会、夜例会、視察、親睦旅行
- ・他クラブとの交流会、いろいろの方と知り合える事業
- ・地域に根差した社会奉仕活動、社会貢献活動、こども支援活動
- ・例会、内部卓話、外部卓話、研修会
- ・例会で皆様に会える
- ・年齢や職種などさまざまな方と同じ目的の活動が出来る
- ・国際大会に参加できる

③ロータリーに入って良かったと思う経験は何ですか？

- ・異業種、異世代との交流
- ・多くの人と知り合いになれた
- ・入会しなければ直接お話出来ない方々より指導をいただいた
- ・地元、地域の事が判り、友人が増えた、人脈が広がる
- ・いろいろな事が学べる
- ・米山奨学生のお世話が出来たこと

④その他、ご意見ご要望をお聞かせください

- ・人口減のなか会員拡大より活動の質向上
- ・分区再編、クラブの合併集約
- ・RC 基本勉強会
- ・ガバナーの負担を減らすべき、やり手がいなくなる
- ・AG よりガバナーへ報告のみで良い
- ・分区内で一緒に協力できる活動を
- ・20 万の年会費は若い世代に中々受け入れて頂けない
- ・仲良く楽しいクラブでなければ、理想の奉仕活動が出来ない
- ・退会者の後継問題
- ・商売につながるような活動があれば会員増にもつながる

AG 青柳が気付かされたご意見

- ・RI があっての各地のロータリーも理解できるが、人口減少の中では拡大よりもクラブの質重視であった方が良くと考えます。
 - ・お世話になった皆様への感謝を伝える事と。受けた御恩を他の人に返す為の社会貢献の為に入会しました。
 - ・ロータリークラブの年会費がライオンズに比べ高いと思いますが、例会数が少ないだけの問題ではないと思います。これから入会しようと思う若い人たちはまず第一步ここで足踏みをしてしまう。会員の入会拒否イコール年会費ではないと思いますが、入会拒否の原因の一つでもあります。今後ロータリークラブの年会費のあり方について、ガバナー補佐のご意見を伺いたいと思います。
 - ・地区大会や周年式典など、内輪の催しにリソースを使い過ぎている。このエネルギーと資金を奉仕事業に振り向けたらどれほどの成果が生まれるだろう。地域を巻き込んだお祭りとして開催し一般の出店ブースも募り、誰もが参加して楽しめるような、ファンレイジングも含めたイベントとして実施したらどうだろうか。
- 会員増強は活動の結果であって、ロータリーの活動目標にしてはいけない。ろくな奉仕活動もせずに会員だけ集めてもただの異業種交流会だ。在籍する意味がない。
- 会員減少するならするで、将来の道筋を考えたほうが前向きだと思う。
- ・ロータリーは素晴らしい活動ですが、若手メン

バーはじめ忙しい会員も多く、以前と比較して例会、行事に対する出席率（今はあまり言わなくなったが）が低いように感じる。比較的出席率の高かった年配（ベテラン）メンバーが退会され、入会の浅い、若手メンバーの出席率の低下が目立ってきているのでは。確たる原因はわからないが、もう少し気軽に参加できる仕組みや柔軟な活動スタイルが増えるとより多くの会員が積極的に関われると思う。

これらのような貴重な意見が活発に出されました。すべてをこの場で報告して読み上げたいのですが、時間の都合上、抜粋して当クラブの週報にも掲載いたします。

第 2560 地区ガバナー室賀信宏様、講師の野崎恭子さまより講評をいただき、第 1 部は閉会されました。

第 2 部は IM の目的のひとつである懇親会が開かれました。矢代秀晴&SouthHills ライブの演奏があり、開演謝辞はホストクラブである樋口徹会長より、乾杯は次年度ガバナーの富山洋様、次年度 IM 開催クラブ挨拶として加茂 RC のみなさんがステージ上に上がり、加茂 RC 会長エレクトの森山一理様、次年度ガバナー補佐の長澤敬一様よりご挨拶があり、手に手つないでのあと、最後に燕 RC 会長エレクトの齋藤貴介様より挨拶があり、成功裏に IM が閉会されました。大変充実した IM であったことを報告いたします。



室賀信宏 ガバナー



本間尚貴 IM 実行委員長





森 宏 幹事

ロータリーの友編集長野崎恭子様の講演

新潟県黒埼中学校出身の方。2年前私がロータリーの友地区代表委員をやっていた関係で、講演に先立ち私の名前も言って下さいました。

2002年白根ロータリークラブ故佐野孝先生（白根緑が丘病院精神科）がガバナーの時、ガバナー事務所スタッフを2年間務めた後、2004年ロータリーの友編集委員会に所属。

世界には色々なクラブがあり、例えば、廃車をバンバン叩いてストレス発散するとか、駐車場のトラックを引っ張る等、日本では考えられないようなプロジェクトの報告がある。

遊びで地域の人・会員以外を巻き込むようなことを掲載したい

投稿記事は、“キレイ”な物ばかり。失敗した話し、とんでもない話し、反省の投稿があってもいい。あるクラブがインドのクラブと共同でプロジェクトをやっていたが、そのインドのクラブがなくなってしまった、お金がどこに行ったか分からない、ということがあった。

この雑誌は、正しいことを教える教科書ではない。

室賀信宏ガバナーは奥様が台湾の方ということもあり、2026年6月13日から6月17日に台北で開催される国際大会に、2560地区として200名の参加を目指している。

参加申し込みはホームページから出来るが、私もやってみようと思いましたが。なかなか面倒で、三条ロータリーの方が一括して申し込んで下さるとのこと。是非皆さん大勢で行きましょう。

事前アンケートの集計報告

これに基づきテーブルごとに、①なぜ、あなたはロータリアンですか？②ロータリーで好きな活動は何ですか？③ロータリーに入って良かったと思う経験は何ですか？④その他、について発表し、フリーディスカッションを行った。時間もなくて特にテーブルごとの発表はなし。



ロータリーの友編集長 野崎恭子 様

田口実仁佳 会員



今回 IMに参加させて頂きました
私は 懇親会の様子を話させて頂きます。前回は参加していなかったのですが 今回ではテーブルのメンバーは他のクラブの方々と一緒でした。色々な話ができて良かったと思います。

白倉君の情報が途中から入り、私の隣の席の方は、燕の大富豪と教えて頂いてから、手のひらを返した様に満面の笑顔での対応となりました。他のクラブの方達との交流も、とても大切だと痛感した時間となりました。



白倉 猛 会員

印象に残ったのは「楽しいロータリー」をテーマにしたテーブルディスカッションです。私の席は高齢者と同世代が半々で、高齢者は思いが強く話が長くなりがちでしたが、若い世代からは「惰性で続けている」「親が入っていたから」など率直な意見が多く出ました。否定的ではなく、それぞれの立場からの本音に触れ、考えさせられる時間でした。

懇親パーティーでは『ロータリーの友』編集長の野崎恭子さんが新潟・黒埼出身と知り、広告制作をしている私としても興味深くお話ししましたが、バンド演奏で会話がほとんど聞き取れず、7人ほどで制作しているという言葉だけが印象に残りました。

総じて有意義な時間で、燕三条エリアの仲間とも多く交流できました。





今年の3月から修士課程の2年生になりました。1年前に学部を卒業し、修士課程に進むことを決めました。その理由は、日本で学生として過ごした素晴らしい経験です。学部での2年間は、とても楽しく、多くのことを学びました。しかし、同時に成長を促す挑戦や困難もありました。このような経験は、自分を改善し学ぶために大切だと思えます。

修士2年生になった今は、授業はなく、実験や研究に専念しています。実験は長時間かかることが多く、研究室で過ごす時間が多くなります。一見退屈に思えるかもしれませんが、研究室の仲間はとても良い人たちです。私は研究室で唯一の外国人学生で、常に日本語でコミュニケーションをとらなければなりません。最初は間違えるのが恥ずかしくてあまり話せませんでしたが、少しずつ馴染み、今ではよく会話するようになりました。仲間たちも最初は英語か日本語で話すか迷っていたと打ち明けてくれました。現在、研究室の全員と仲良くしています。実験が長時間かかるため、結果を待つ間にカードゲームをしたり会話を楽しんだりしています。

一番楽しかった経験は、自分の国の料理を教えてほしいと頼まれたことです。私はメキシコ出身なので、国際的に有名な料理はタコスです。そこでタコスパーティーをしました。材料を準備して一緒に食べたり、テキーラを飲んだりして、とても楽しかったです。自分の文化を他の人と共有できることがとても嬉しかったです。

研究室の仲間との関係はとても大切にしています。修士課程の学生は実験や研究で忙しく、互いの状況を理解できるため、助け合うことができます。

学生であることが好きです。責任はありますが、自由な時間もあります。学ぶことが好きで、いつまでも学生でいたいと思っています。しかし、すべてには終わりがあります。来年は日本の企業で働き始める予定で、新しい章の始まりです。学生として学んだことは、この新しいステップに必ず役立つと思います。

10月4日(土) 米山奨学委員長セミナー
(会場：ホテルイタリヤ軒)

